

変更理由書

(発注担当課:水道施設課)

1 工 事 名: 上尾村地内(市道30564号線、外4路線)配水管布設工事

2 工事場所: 上尾市大字上尾村地内

3 工 種: 土木一式
(建設業法上の29分類)

4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和4年6月2日 から 令和4年10月31日 まで	令和一年一月一日 から 令和一年一月一日 まで
契 約 金 額 (税 込 み)	28,403,100 円	27,687,000 円
工 事 概 要	鋳鉄管布設工 149.9m	鋳鉄管布設工 144.7m
	硬質塩化ビニル管布設工 41.3m	硬質塩化ビニル管布設工 1.6m
	仕切弁設置工 4基	仕切弁設置工 3基
	材料	材料
	GX DIP 曲管 φ75×22 1/2° 2個	GX DIP 曲管 φ75×22 1/2° 4個
	GX DIP 曲管 φ75×45° 1個	GX DIP 曲管 φ75×45° 0個
	GX DIP 乙字管 φ75×450 1個	GX DIP 乙字管 φ75×450 0個
	VCジョイント片落 φ100×50 1個	VCジョイント片落 φ100×50 0個
	ダクタイル仕切弁一般型 φ50 1基	ダクタイル仕切弁一般型 φ50 0個
	K DIP 栓 φ250 -	K DIP 栓 φ250 1個
	K DIP ムカ帽 φ100 -	K DIP ムカ帽 φ100 1組
	K DIP ムカ帽 φ250 -	K DIP ムカ帽 φ250 3組
	土工	土工
	舗装切断工 t=5cm 340m	舗装切断工 t=5cm 230m
	小型バックホウ掘削積込 BH0.13m ³ 46m ³	小型バックホウ掘削積込 BH0.13m ³ 14m ³
	バックホウ掘削積込 BH0.28m ³ 180m ³	バックホウ掘削積込 BH0.28m ³ 150m ³
	管路埋戻費 砂質土 BH0.13m ³ 22m ³	管路埋戻費 砂質土 BH0.13m ³ 6m ³
	管路埋戻費 砂質土 BH0.28m ³ 83m ³	管路埋戻費 砂質土 BH0.28m ³ 85m ³
	発生土処理 BH0.13m ³ 42m ³	発生土処理 BH0.13m ³ 12m ³
	発生土処理 BH0.28m ³ 160m ³	発生土処理 BH0.28m ³ 140m ³
	路盤工 下層路盤 30cm 174m ²	路盤工 下層路盤 30cm 116m ²
	路盤工 上層路盤 20cm 174m ²	路盤工 上層路盤 20cm 116m ²
	アスファルト舗装工 車道 5cm 193m ²	アスファルト舗装工 車道 5cm 130m ²
	管工	管工
	DCV工法 DIP φ250 -	DCV工法 DIP φ250 1箇所
	仮設管布設工	仮設給水工
	仮設ポリエチレン管布設工(土のう工)	仮設ポリエチレン管布設工(土のう工)
	地上露出配管 214.6m	地上露出配管 109.2m
	仮設ポリエチレン管布設工(土工)	仮設ポリエチレン管布設工(土工)
	市 舗装道埋設配管 φ50以下 34.8m	市 舗装道埋設配管 φ50以下 43.6m
	仮設ポリエチレン管布設工(土工)	仮設ポリエチレン管布設工(土工)
	市 舗装道埋設配管 φ75 36.0m	市 舗装道埋設配管 φ75 53.7m

5 変更理由

市道30563号線について、当初は管径縮径と片送りの配管にする予定であったが、工事着手後に片送りにして水質測定した結果、残留塩素濃度を確保できることが確認できたため、当該路線の管布設工と仮設給水工を減とする。

市道30568号線について、工事着手後に現地調査し、断水計画を作成した結果、断水区間は高低差があり、管切断時に水が全て抜け、断水後の復旧に時間を要することが分かったため、不断水工法を用いて施工を行うこととする。

工事着手後に試験掘りを行った結果、一部既設管が民地の壁と近接し、掘削工事に伴い、倒壊の恐れがあることが判明した。道路管理者と協議の結果、既設管両端に蓋を設置し、充填材で閉塞を行うこととする。さらに既設管の一部が竣工図と異なっていたため、材料を変更し接続を行うこととする。

仮設給水管施工中、仮設給水管を暗渠内に配管する予定であったが、一部が暗渠内に施工できないことが判明したため、埋設配管に変更する。